



被災高齢者らケア

岩手にAMDA
きょう施設開所 はりやマッサージ

国際医療ボランティア 努める。

AMDA（本部・岡山市北区伊福町）は18日、東日本大震災で被害を受け、所属する医師らが支援に当たった岩手県大槌町に、「健康サポートセンター」を開設する。スタッフ2人が常駐し、はり・きゅう、マッサージなどで高齢者らのケアに

AMDAは大震災発生直後から岩手、宮城両県に医師や看護師らを派遣。高齢者が多い大槌町ではマッサージなどが好評で、地域要望もあったことからセンター設置を決めた。

18日にオープンする健康サポートセンター（AMDA提供）

センターは鉄骨平屋約40平方メートル、診療室と待合室、付近住民の憩いの場となるサロンもある。県立大槌病院と仮設住宅に近く、土

地はAMDAからの協力要請に応じた被災者から格安で借り受けた。総工費約500万円、寄付金などを充てた。

AMDAは「被災者のため、心身双方をサポートする拠点とした」と話していた。

18日に開所式を行うほか、地域住民の作品など展示し、被災者を元気づけるクリスマスイベントなども計画している。

（船越元洋）